

2013年 札幌市立大学×北海道情報大学×北海道大学 感性情報デザイン系ゼミ合同発表会

Program (発表7分+質疑5分)

9:00 開会あいさつ

■ 成田 吉弘 (北海道大学 大学院工学研究院 教授)

9:05 五感で共感する

● 五感を使ったコミュニケーションシーンの提案
友野 優子 (札幌市立大学 デザイン学部 4年)

9:18 子どもに冬への興味を持たせる「かつこよさ」の研究

▲ 雪上での雪煙演出方法「スノーボム」の制作
松田 悠暉 (北海道情報大学 情報メディア学部 4年)

9:31 台所作業における高齢者の行動

▲ 台所作業を快適にする腰掛け器具「ZUOYI」の制作
藤 云 (北海道情報大学 情報メディア学部 4年)

9:44 直感による人間の心理

● 野月 夏雅 (札幌市立大学 デザイン学部 4年)

9:57 幼児期における習慣行動の考察

▲ あいさつを習慣づけさせる仕組みの提案
郷司 稜大 (北海道情報大学 情報メディア学部 4年)

10:10 映像と触感覚の間にみられる「やわらかさ」の差異

▲ 3DCGを用いた実感覚に近づけたやわらかさの表現
劉 自暢 (北海道情報大学 情報メディア学部 4年)

10:23 携帯電話の利用で生じる「気づかない孤独やストレス」を知る

● 本間 愛里彩 (札幌市立大学 デザイン学部 4年)

10:35 休憩 10分

10:45 親に対する子どもの「誇り」に関する考察

▲ 親の背を映す誇り育成装置「おやのせなか」の制作
飛田 翔逸 (北海道情報大学 情報メディア学部 4年)

10:58 幼児教育におけるアニミズム概念の拡張効果

▲ 水の視点に立たせて水育を促す教育ツールの制作
伏見 恵弥 (北海道情報大学 情報メディア学部 4年)

11:11 標準案内用ピクトグラムのデザイン改善のための構成要素分析

■ 櫻庭琢也 (北海道大学 大学院工学院 修士1年)

11:24 アート活動を伴わせることによるエクササイズの継続効果

▲ 高齢者の脚力強化を目指した粘土アートエクササイズの提案
南條 勇紀 (北海道情報大学 情報メディア学部 4年)

11:37 動物の動きがもたらす癒し効果

▲ 小動物の動きを模倣することで気分を和らげるツールの制作
幅田 元気 (北海道情報大学 情報メディア学部 4年)

11:50 自動車の魅力的な外観に関する認識モデルの構築

■ 文字情報による構造化
渡邊 翔太 (北海道大学 大学院工学院 修士1年年)

12:03 命の大切さを伝える「命育」における表現方法の考察

▲ 適応表現を調整可能とする命育ツール『ぎゅーぎゅー』の制作
二瓶 幸 (北海道情報大学 情報メディア学部 4年)

12:15 昼食 65分

13:20 雑談力がもたらすコミュニケーション展開の効果

▲ お年寄りの知恵袋を広める場「EN-GAWA」の提案
佐藤 友樹 (北海道情報大学 情報メディア学部 4年)

13:33 ハンドル径と握り心地に関する感性評価

■ 時間経過による疲労感の変化
劉 璞 (北海道大学 大学院工学院 修士1年)

13:46 顔文字に効果音を付加することにより変化する印象解釈の考察

▲ 顔文字に効果音を付加したコミュニケーション支援ツールの制作
吉田 圭佑 (北海道情報大学 情報メディア学部 4年)

13:59 短時間で大学生ヘリフレッシュ効果を与える手法

▲ 音と香りによる速効性気分転換ツールの制作
中村 太一 (北海道情報大学 情報メディア学部 4年)

14:12 コンテンツによるウェブサイトの色彩計画の印象評価

■ 小椋 達 (北海道大学 大学院工学院 修士2年)

14:25 「親切」と「お節介」の境界探索

▲ 大学生が快適に買い物できる販売環境の提案
伊藤 元気 (北海道情報大学 情報メディア学部 4年)

14:38 過去を想起することによる感情コントロール

▲ 思い出を記録・想起させる装置の提案
及川 友人 (北海道情報大学 情報メディア学部 4年)

14:51 異素材の組み合わせが「おしゃれ感」に与える影響

■ 島田 亮 (北海道大学 大学院工学院 修士2年)

15:03 意見交換会

15:30 閉会



Kansei

日時 2013年 6月 8日 土曜日 9:00 ~ 15:30
会場 北海道大学 工学部 大会議室 (A1-17)
〒060-8628 北海道札幌市北区北13条西8丁目

問い合わせ:
北海道大学 011-706-6416 (担当:李美龍)

Design : FUSHIMI Satomi